

2017年度 開催案内

ISO9001 ISO14001

2015年版 規格改訂対応 シリーズ

最新情報・詳細はコチラから

ISOWEB

検索

ISO9001

ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー

ISO9001:2015対応
ギャップ分析実践セミナー

ISO9001:2015対応
品質マニュアル改訂／文書体系の見直しセミナー

ISO9001内部監査員 2015年版差分対応セミナー

ISO14001

ISO14001規格改訂対応ポイント解説セミナー

ISO14001:2015対応
ギャップ分析実践セミナー

ISO14001:2015対応
環境マニュアル改訂／手順書の見直しセミナー

ISO14001内部監査員 2015年版差分対応セミナー

規格改訂対応に役立つ!!

JMA日本能率協会が提供する

講師派遣型ISO研修 のご案内

公開研修と
合わせて
ご検討ください

一般社団法人日本能率協会(JMA)の「ISO公開研修」は、ISO9001/14001をはじめ様々なマネジメントシステムを網羅し、参加者の皆様に「実践的で役に立つ」と高くご評価いただいております。

そんなJMAの「ISO公開研修」を、貴社のご要望に合わせて実施するのが「講師派遣型ISO研修」です。2015年版規格改訂対応、事務局・内部監査員の力量向上、システムの改善などに是非ご活用ください!

JMA講師派遣型ISO研修5つの特長

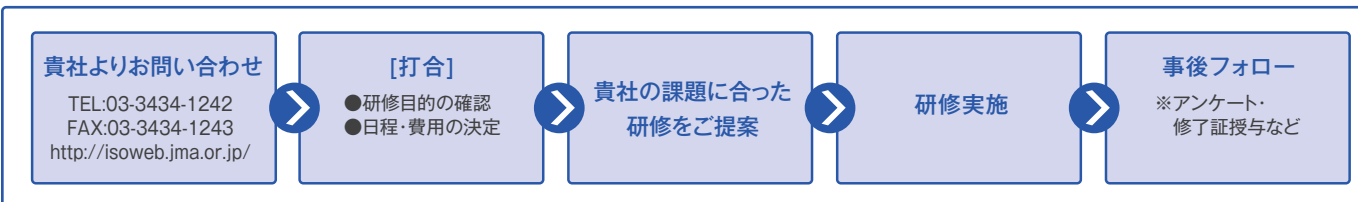
- 1 ISO公開研修の全てのプログラムは「講師派遣」が可能です。
- 2 貴社のご希望日・ご希望場所に講師(経験豊富な専門家)が伺います。
●受講対象者が多数の場合、交通費・宿泊費が大幅に節約できます。
- 3 貴社の業種・特性に合わせてカスタマイズしたテキスト・教材を準備いたします。
●演習のある研修では、貴社用のケーススタディを作成します。
●内部監査員研修では、貴社の「マニュアル」を使用します。
- 4 一般論でなく、実践的で役立つISO研修です。
●豊富な事例を交えて、「一緒に考える」研修です。
- 5 集合研修であるため、研修成果を受講者間で共有できます。
●知識を得るだけでなく、マネジメントシステムへの意識も高まります。



● 対象マネジメントシステム・テーマ

- | | | |
|------------------------|--------------------|--------------------------|
| ● ISO9001(品質) | ● ISO14001(環境) | ● ISO22000(食品安全) |
| ● FSSC22000(食品安全) | ● ISO13485(医療機器) | ● ISO/IEC27001(情報セキュリティ) |
| ● ISO/IEC20000(ITサービス) | ● ISO45001(労働安全衛生) | ● ISO50001(エネルギー) |
| ● ISO22301(事業継続) | ● ISO39001(道路交通安全) | ● ISO20252(マーケットリサーチ) |
| ● CSR | ● コンプライアンス | ● 規格改訂対応 |
| ● 基礎セミナー | ● システム構築 | ● システム統合 |
| ● 経営者・幹部向け | ● スリム化・改善 | ● 内部監査員養成・レベルアップ |
| ● 新任ISO事務局支援 | ● 各種法規制 | |

● 研修までの流れ



ご連絡・お問合せ先



一般社団法人日本能率協会 ISO研修事業部

TEL 03(3434) 1242(直通) FAX 03(3434) 1243 E-mail: isoweb@jma.or.jp

ISOWEB

検索

<http://isoweb.jma.or.jp/>

～2015年版へのスムーズな移行を実践～

ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー

- ねらい
- ①2015年版での規格の理解を促します
 - ②2015年版にスムーズに移行するための知識(移行スケジュールと対応のポイント)を習得します

会期 2017年 4月17日(月) 東京 2017年 6月 1日(木) 大阪
 2017年 8月31日(木) 東京 2018年 3月15日(木) 大阪
 2017年10月10日(火) 東京
 2018年 1月16日(火) 東京

会場 東京 日本能率協会 研修室
 大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師
 糸魚川 浩司 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ● ISO9001の推進事務局・管理責任者
 ● 品質保証、品質管理部門の担当者・責任者

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要
	② ISO9001の解説-2008年版と比較して- ～理解のための規格の勘所とは～
	③ 規格改訂対応のポイント ● 移行スケジュール ● マニュアル等、文書類の取扱い ● 内部/外部の課題、リスク及び機会への取組み ● 品質方針 ● 運用 ● コミュニケーション ● トップマネジメントとコミットメント
	④ 演習 2015年版の差分分析と実務(ケーススタディ) ①組織の状況 ②リスク及び機会 ③事業プロセス統合
17:00	▶ 会社に持ち帰り、すぐ実践できる「差分チェックリスト」の説明

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～改訂規格の概要理解&改訂対応のための課題抽出の“コツ”を実践的に習得～

ISO9001:2015対応ギャップ分析実践セミナー

- ねらい
- ①各種マネジメントシステム規格の“骨格”である「MSS共通テキスト」に沿って規格構成が大幅に変更されたため、2008年版との相関を正確に把握する必要がある。
 - ②「外部及び内部の課題」、「リスク及び機会」、「組織の知識」など新規要求事項に対しては、既存活動を該当させるか新たな対応が必要かの見極めが重要である。
 - ③2008年版と大きな要求事項の変更がない条項でも、“考慮すべき事項”や“決定すべき事項”、“明確化すべき事項”が変更、あるいは追加されており、それらへの抜け漏れのない対応が必要となる。

会期 2017年 4月18日(火)
 2017年 6月19日(月)
 2017年 8月28日(月)

会場 日本能率協会 研修室(東京)

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ISO9001:2015への移行を予定している
 組織の管理責任者、事務局

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要 ① 規格改訂のポイント ② ISO9001:2008からの変更及び追加要求事項
	② ギャップ分析の進め方 ① ギャップ分析の目的と実施のポイント ② ギャップ分析表の使い方
	③ 簡条4→簡条6の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条4→簡条6のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ]簡条4→簡条6のギャップ分析 ※個人(グループ)演習→発表→講師コメント
	④ 簡条7→簡条8の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条7→簡条8のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ]簡条7→簡条8のギャップ分析 ※個人(グループ)演習→発表→講師コメント
	⑤ 簡条9→簡条10の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条9→簡条10のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ]簡条9→簡条10のギャップ分析 ※個人(グループ)演習→発表→講師コメント
17:00	※実践的な演習実施のために、自組織の品質マニュアル及び文書体系一覧表などを持参されることを推奨します。

※内容は、変更される場合があります。また、進行の都合により時間割が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

～スムーズな品質マニュアル改訂のポイント解説～

マニュアル(改訂対応の主要項目)付

ISO9001:2015対応 品質マニュアル改訂/文書体系の見直しセミナー

本セミナーは、下記の疑問にお答えします

- 品質マニュアル作成の要求はなくなるので、作成する必要はないのか?
- 品質マニュアルは残すが、改訂する必要があるか?改訂が必要であれば、どのように改訂すればよいのか?
- “文書化された手順”の要求がなくなるので、既存の規定・手順書は廃止してよいのか?
- 「内部及び外部の課題」、「リスク及び機会」の決定や新規要求事項のために新たな手順の作成や記録を残さなければならないのか?

会期 2017年 4月19日(水) 東京 2018年 1月17日(水) 東京
 2017年 5月10日(水) 東京 2018年 2月28日(水) 東京
 2017年 7月11日(火) 東京 2017年 6月 7日(水) 大阪
 2017年 8月 3日(木) 東京 2017年11月14日(火) 大阪
 2017年10月11日(水) 東京 2018年 3月16日(金) 大阪
 2017年11月 2日(木) 東京

会場 東京 日本能率協会 研修室
 大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

対象 ISO9001改訂規格への移行を
 予定している組織の管理責任者、事務局

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要 ①規格改訂のポイント ②ISO9001:2008からの変更及び追加要求事項
	② ISO9001:2015版の“文書化された情報”に関する 要求事項 ①“文書化された情報”とは何か ②ISO9001:2008の文書・記録の要求事項はどのように変わったか ・品質マニュアル、“文書化された手順”、文書・記録の管理 ③実質的には“文書化された情報”が必要となりそうな要求事項
	③ QMS文書体系の特徴と改訂規格での文書体系の考え方 ①一般的な文書体系の特徴と問題点 ②規格改訂対応を通じた文書体系見直しのポイント
	④ 品質マニュアル改訂と用語の表記方法 ①規格で使用されている用語とその定義 ②品質マニュアル及び文書類で使用される用語を見直す
	⑤ 品質マニュアル改訂のポイントと進め方 ①品質マニュアルは“QMS全体を俯瞰(全体把握)する文書” ②既存品質マニュアルをベースとした改訂の方法 ③改訂規格に沿った構成の品質マニュアル改訂の方法
17:00	⑥ 演習 自組織の品質マニュアル改訂及び文書体系の検討 ◆個人演習 →発表 →講師コメント ※実践的な演習実施のために、自組織の品質マニュアル及び文書体系一覧表などを持参されることを推奨します。

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～2008年版との差分を学び、2015年版対応の内部監査員を目指す～

ISO9001 内部監査員 2015年版差分対応セミナー

ねらい

- ①2015年版での規格の理解を促します
- ②2015年版での内部監査力量を担保します

2008年版と2015年版との
差分追加教育
修了証つき

監査チェック
リスト付

- 会期 2017年 4月24日(月) **東京** 2017年 7月 5日(水) **大阪**
2017年 6月30日(金) **東京** 2018年 1月12日(金) **大阪**
2017年 8月 2日(水) **東京**
2017年10月30日(月) **東京**
2017年12月11日(月) **東京**
2018年 2月27日(火) **東京**

- 会場 **東京** 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 宮澤 武 一般社団法人日本能率協会 QMS主任講師

- 対象 ● 2008年版でのISO9001内部監査員
養成コースを修了された方
● ISO9001内部監査員候補の方々、
推進事務局・管理責任者
● 品質保証、品質管理部門の担当者・責任者

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO9001:2015年版改訂の概要	
	② ISO9001の監査ポイントー2008年版と比較してー ～理解のための規格の勘所とは～	
	●用語の定義の変化(2008年版と比較して) ●「4. 組織の状況」 ●「5. リーダーシップ」 ●「6. 計画」 ●「7. 支援」 ●「8. 運用」 ●「9. パフォーマンス評価」 ●「10. 改善」	
	③ ISO9001:2015年版に対応した監査プログラムと 監査手順の見直し	
	④ 演習 ISO9001の内部監査(ケーススタディ)	
	⑤ 理解度テスト、差分追加教育修了証授与	
17:00	▶ 持ち帰ってすぐ使える「監査チェックリスト」の説明	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

JMAが提唱する「移行の5ステップ」



貴社の移行準備状況に合わせて、受講するプログラムを選択できます!

- (例) Step1～2 ▶ 規格改訂対応ポイント解説セミナー
Step2～3 ▶ ギャップ分析実践セミナー
Step3～4 ▶ マニュアル改訂/文書体系(14001は手順書)の見直しセミナー

2015年9月にISO9001/ISO14001の改訂版が発行されました。
経営・事業と融合したマネジメントシステムへ向けて、さらなるレベルアップに取り組むチャンスです。

～2004年版との差分を学び、2015年版対応の内部監査員を目指す～

ISO14001 内部監査員 2015年版差分対応セミナー

ねらい

- ①2015年版での規格の理解を促します
- ②2015年版での内部監査力量を担保します

2004年版と2015年版との
差分追加教育
修了証つき

監査チェック
リスト付

- 会期 2017年 4月25日(火) **東京** 2017年 7月14日(金) **大阪**
2017年 7月10日(月) **東京** 2018年 1月17日(水) **大阪**
2017年10月 3日(火) **東京**
2018年 1月29日(月) **東京**

- 会場 **東京** 日本能率協会 研修室
大阪 日本能率協会 関西オフィス 研修室

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

- 対象 ● 2004年版でのISO14001内部監査員
養成コースを修了された方
● ISO14001内部監査員候補の方々、
推進事務局・管理責任者
● 環境推進、CSR部門の担当者・責任者

プログラム		昼食時間12:00～13:00
10:00	① ISO14001:2015年版改訂の概要	
	② ISO14001の監査ポイントー2004年版と比較してー ～理解のための規格の勘所とは～	
	●用語の定義の変化(2004年版と比較して) ●「4. 組織の状況」 ●「5. リーダーシップ」 ●「6. 計画」 ●「7. 支援」 ●「8. 運用」 ●「9. パフォーマンス評価」 ●「10. 改善」	
	③ ISO14001:2015年版に対応した監査プログラムと 監査手順の見直し	
	④ 演習 ISO14001の内部監査(ケーススタディ)	
	⑤ 理解度テスト、差分追加教育修了証授与	
17:00	▶ 持ち帰ってすぐ使える「監査チェックリスト」の説明	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～2015年版へのスムーズな移行を実践～

ISO14001規格改訂対応ポイント解説セミナー

ねらい

- ① 2015年版での規格の理解を促します
- ② 2015年版にスムーズに移行するための知識(移行スケジュールと対応のポイント)を習得します

会期 2017年 4月26日(水)
2017年 6月26日(月)

会場 日本能率協会 研修室(東京)

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

対象 ● ISO14001の推進事務局・管理責任者
● 環境推進、CSR部門の担当者・責任者

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO14001:2015年版改訂の概要
	② ISO14001の解説-2004年版と比較して- ～理解のための規格の勘所とは～
	③ 規格改訂対応のポイント ● 移行スケジュール ● マニュアル等、書類の取扱い ● 内部/外部の課題、順守義務、リスク及び機会への取組み ● 環境方針 ● 順守評価 ● コミュニケーション ● トップマネジメントとコミットメント
	④ 演習 2015年版の差分分析と実務(ケーススタディ) ①組織の状況 ②リスク及び機会 ③事業プロセス統合
17:00	▶ 会社に持ち帰り、すぐ実践できる「差分チェックリスト」の説明

※プログラム内容は、変更される場合があります。

～改訂規格の概要理解&改訂対応のための課題抽出の“コツ”を実践的に習得～

ISO14001:2015対応ギャップ分析実践セミナー

ねらい

- ① 各種マネジメントシステム規格の“骨格”である「MSS共通テキスト」に沿って規格構成が大幅に変更されたため、2004年版との相関を正確に把握する必要がある。
- ② 「外部及び内部の課題」、「リスク及び機会」、「コミュニケーション」など新規要求事項に対しては、既存活動を該当させるか新たな対応が必要かの見極めが重要である。
- ③ 2004年版と大きな要求事項の変更がない条項でも、“考慮すべき事項”や“決定すべき事項”、“明確化すべき事項”が変更、あるいは追加されており、それらへの抜け漏れのない対応が必要となる。

会期 2017年 5月12日(金)
2017年10月 4日(水)

会場 日本能率協会 研修室(東京)

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

対象 ISO14001:2015への移行を予定している
組織の管理責任者、事務局

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO14001:2015年版改訂の概要 ① 規格改訂のポイント ② ISO14001:2004からの変更及び追加要求事項
	② ギャップ分析の進め方 ① ギャップ分析の目的と実施のポイント ② ギャップ分析表の使い方
	③ 簡条4→簡条6の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条4→簡条6のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ] 簡条4→簡条6のギャップ分析 ※個人(グループ)演習⇒発表⇒講師コメント
	④ 簡条7→簡条8の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条7→簡条8のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ] 簡条7→簡条8のギャップ分析 ※個人(グループ)演習⇒発表⇒講師コメント
	⑤ 簡条9→簡条10の規格要求事項詳細とギャップ分析 ① 簡条9→簡条10のねらいと要求事項理解のポイント ② 既存活動を振り返り、いかに該当させるか ③ [ケーススタディ] 簡条9→簡条10のギャップ分析 ※個人(グループ)演習⇒発表⇒講師コメント
17:00	※実践的な演習実施のために、自組織の環境マニュアル及び文書体系一覧表などを持参されることを推奨します。

※内容は、変更される場合があります。また、進行の都合により時間割が変わる場合がございます。あらかじめご了承ください。

～スムーズなEMS文書改訂のポイント解説～

ISO14001:2015対応 環境マニュアル改訂 / 手順書の見直しセミナー

マニュアル見本付

本セミナーは、下記の疑問にお答えします

- 環境マニュアル作成の要求はないが、作成する必要があるのか?
- 環境マニュアルは残すが、改訂する必要があるか?
どのように改訂すればよいのか?
- “手順”の要求が全て“プロセス”に変わったので、
既存の規定・手順書は廃止してよいのか?
- 「内部及び外部の課題」、「リスク及び機会」について
新たな手順の作成や記録を残さなければならないのか?

会期 2017年 4月27日(木) 2017年11月 7日(火)
2017年 6月27日(火) 2017年12月12日(火)
2017年 9月 5日(火) 2018年 2月27日(火)

会場 日本能率協会 研修室(東京)

講師 中川 優 一般社団法人日本能率協会 EMS主任講師

対象 ISO14001改訂規格への移行を
予定している組織の管理責任者、事務局

プログラム

昼食時間12:00～13:00

10:00	① ISO14001:2015年版改訂の文書化した情報に関する概要
	② ISO14001:2015版の“文書化した情報”に関する要求事項 ① ISO14001:2004の文書・記録の要求事項はどのように変わったか ・環境マニュアル、文書化した手順、文書・記録の管理 ② 実質的には“文書化された情報”が必要となりそうな要求事項
	③ 環境マニュアル改訂と用語の表記方法について ① 規格で使用されている用語とその定義 ② 環境マニュアル及び文書類で使用される用語を見直す
	④ 手順からプロセスへ
	⑤ 環境マニュアル改訂のポイントと進め方 ① 環境マニュアルは“EMS全体を俯瞰(全体把握)する文書” ② 既存環境マニュアルをベースとした改訂の方法 ③ 改訂規格に沿った構成の環境マニュアル改訂の方法
	⑥ 演習 自組織の環境マニュアル改訂及び手順書の検討 ◆ 個人演習 ⇒発表 ⇒講師コメント ※実践的な演習実施のために、自組織の環境マニュアルを持参されることを推奨します。
17:00	

※プログラム内容は、変更される場合があります。

FAX 03-3434-5505

ホームページでのお問い合わせ・お申込みは
<http://isoweb.jma.or.jp/>

※2018年1月よりオフィスを移転します。電話番号等の詳細につきましては、随時ホームページでご案内します。

参加申込規定

DK

参加料 (税抜) (1セミナーにつき)

一般社団法人日本能率協会 法人会員	34,000円 / 1名
会 員 外	39,000円 / 1名

※テキスト(資料)費・昼食費が含まれております。
 ※本事業終了時の消費税率を適用させていただきます。
 ※法人会員ご入会の有無につきましては、下記HPにてご確認ください。
<http://www.jma.or.jp/membership/>

参加申込方法

- ① 申込書に必要事項をご記入のうえ、FAXをお送りいただくか、ホームページから申込みいただければ正式申込みとして受領されます。開催間際のお申込みは、ご参加いただけないこともあります。あらかじめ電話でご確認ください。
- ② 電話ではご予約のみの承りになります。その場合でも、申込書は必ずお送りください。
- ③ 参加証・請求書は開催1カ月前から発送いたします。なお、1か月以内のお申込みの時は、申込書受領後1週間ほどで参加証・請求書を発送いたします。
- ④ 参加料は開催前日までに請求書の銀行口座へお振込みください。開催後のお振込みの場合は、請求書の「入金連絡票」にてお振込み日をご連絡ください(振込み手数料は貴社でご負担ください)。

キャンセル規定

参加者のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。代理の方もご都合がつかない場合は、下記によりキャンセル料を申し受けますのでご了承ください。

開催7日前～前々日(開催初日を含まず起算)…………… 参加料の30%
 開催前日および当日…………… 参加料全額
 万一キャンセルの場合は必ずファックスにてご連絡ください。

参加日程の変更

参加日程の変更については1回のみ可能といたします。電話でご確認後所定のお手続きをお取ください。なお変更のお申し出の日付により上記キャンセル料を申し受けますのでご了承ください。変更は同一年度内(2017年4月～2018年3月)に限りです。

ご注意

- ・お申込みをいただいた方にはセミナーインフォメーションをお送りすることがあります。
- ・講演の録音・撮影はご遠慮ください。
- ・テキストは会場でお渡しします。参加者以外の方にはテキストをおわけしません。
- ・開催可能な人数に満たない場合は、開催中止または延期する場合があります。

会場案内

会場は、参加証送付時にご案内します。
 ※2018年以降は会場(東京)が変更となります。(港区・芝公園へ移転予定)

法人会員入会のおすすめ

小会法人会員にご入会いただくとセミナー参加料金割引などのサービスがございます。セミナー参加申込に併せて小会法人会員へのご入会を是非ご検討ください。
 詳細は→<http://www.jma.or.jp/membership/>

免責事項

天災地変や伝染病の流行、研修会場・輸送等の機関のサービスの停止、官公庁の指示等の小会が管理できない事由により研修内容の一部変更および中止のために生じたお客様の損害については、小会ではその責任を負いかねます。

プログラム内容のお問い合わせ先

一般社団法人 日本能率協会 ISO研修事業部
 TEL : 03-3434-1242(直通) FAX : 03-3434-1243

参加申込先

一般社団法人日本能率協会 JMAマネジメントスクール
 [現連絡先:2017年12月末まで] ※2018年1月よりオフィスを移転します。
 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階
 FAX : 03-3434-5505 TEL : 03-3434-6271(直) e-mail : seminar@jma.or.jp
 (受付時間)月～金曜日9:00～17:00(ただし祝日を除く)
 URL <http://school.jma.or.jp/> (セミナーの最新案内など各種情報をご案内)

個人情報のお取り扱いについて

一般社団法人日本能率協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は小会ホームページにて掲載されております。小会の個人情報等保護方針(<http://www.jma.or.jp/privacy/>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本催し物に関する確認・連絡・運営、本研修修了(または受講)者の本人確認と証明書の発行・管理、および小会主催の関連催しのご案内送付等に使用させていただきます。

参加証・請求書はこの方へにお送り致します。それ以外をご希望の場合は、【連絡希望事項欄】へご記入ください。

2017.1 第4版

参加申込書 ISO9001/ISO14001 2015年版 規格改訂対応シリーズ

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> ISO9001規格改訂対応ポイント解説セミナー | <input type="checkbox"/> ISO14001規格改訂対応ポイント解説セミナー |
| <input type="checkbox"/> ISO9001:2015対応 ギャップ分析実践セミナー | <input type="checkbox"/> ISO14001:2015対応 ギャップ分析実践セミナー |
| <input type="checkbox"/> ISO9001:2015対応
品質マニュアル改訂/文書体系の見直しセミナー | <input type="checkbox"/> ISO14001:2015対応
環境マニュアル改訂/手順書の見直しセミナー |
| <input type="checkbox"/> ISO9001内部監査員 2015年版差分対応セミナー | <input type="checkbox"/> ISO14001内部監査員 2015年版差分対応セミナー |

ふりがな	ふりがな	<input type="checkbox"/> 一般社団法人日本能率協会 <input type="checkbox"/> 法人会員 <input type="checkbox"/> JMAQA登録者 <input type="checkbox"/> 会員外		【連絡希望事項欄】
会社名 (正式名称)	事業所名	所在地	TEL ()	FAX ()
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	TEL ()	FAX ()	
ふりがな	Eメール	TEL ()	FAX ()	
申込責任者	所属 役職名	TEL ()	FAX ()	受付No. 開催日程
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	TEL ()	FAX ()	東京 ・ 大阪
ふりがな	Eメール	TEL ()	FAX ()	月 日
氏名	所属 役職名	TEL ()	FAX ()	
所在地	TEL ()	FAX ()		
メール配信	希望 <input type="checkbox"/> する <input type="checkbox"/> しない	TEL ()	FAX ()	受付No. 開催日程
ふりがな	Eメール	TEL ()	FAX ()	東京 ・ 大阪
氏名	所属 役職名	TEL ()	FAX ()	月 日
所在地	TEL ()	FAX ()		
参加料 (税抜)	円 × 名 合計 円	お振込予定日		参加証発行日 請求書発行日 領収日
		月 日		